

# 養命の里 会報

No.6

## 特集 養命の里5周年記念事業

2002年2月にNPO法人化した信州養命の里プロジェクトは、5周年の節目を迎え、2006年10月9日(月)中川村文化センターで、盛大に5周年記念事業を行いました。その特集です。

### テーマ

### 結びと絆「協働で拓く地域の和」

#### 理事長 松村俊彦 挨拶

急速に進む少子高齢化と共に、多様化する複雑な社会問題を抱え、先行き不透明な時代の中で、私たちは今、「何か自分たちができることはないか」との思いで始めた活動の一環が、遊休農地の荒廃化に対する有効利用対策の取り組みでした。

模索のなかで仲間を募り、夢中に取り組んだ5年間の歳月は「光陰矢の如し」、一瞬の出来事のように過ぎてしまいました。この間、会員方々を中心に、地域の皆様方に支えられ見守られながら、5年の節目を迎えられたことを心からお礼と感謝申し上げます。

長野県、地元行政方々のご指導を受け、多くの仲間たちのご協力を頂き、5周年記念事業を実現することができましたことをご報告申し上げます。



#### 基調講演 伊那食品工業株式会社 代表取締役 塚越寛氏

伊那谷を代表する優良企業として地域社会に貢献され、数々の最高賞を受賞されています。今日に至るまでの経営理念について話され、いい会社を作るためにはいい社員と言われるような人づくりから始められたといっています。



いいふる里づくりも、まずは人づくりが大切であると。

一つの長期ビジョン(目標)に向って一意専心一丸となって取り組むことを力説されました。

### シンポジウム

#### テーマ「結びと絆で地域づくり」

コーディネーター NPO法人自然科学研究所理事長 小谷宗司氏(木曾郡) パネリスト

養命酒製造(株) 中央研究所 所長

小島暁氏(伊那市)

飯島町国際協力会 会長

橋場みどり氏(飯島町)

榑池上酒店代表取締役

池上明氏(飯島町)

信州日本みつばちの会 会長

富永朝和氏(中川村)

信州養命の里プロジェクト

理事長 松村俊彦(中川村)

コーディネーターを中心に各々の立場で活躍されている方々がパネリストとなつて経験を発表し、ディスカッションを展開しました。

最後に小谷氏から、お互いの目標は異なつても、実現に向けての思いや理念

をいかに継続するか。そのために志を共有した仲間たちとの連携が必要お互いが助け合い支えあう気持ちがい失われようとしていいる今こそ、結びと絆が大切ではないかと、まとめて頂きました。

### アトラクション

多彩なアトラクションが参加者を魅了しました。



バイオリン演奏 牧美花さん(長野市)

アルプホルン: アルプホルン駒ヶ根(駒ヶ根市)



創作劇: 長野県地球温暖化防止活動推進 and 南信協同(伊那市)

合唱: 中川女声コーラス(中川村)



太鼓演奏: 陣馬太鼓(中川村)



三味線演奏: 晴駒会(駒ヶ根市) 中川三味線クラブ(中川村)



合唱: 男声合唱団「昴」(名古屋市)

このほか、戸田さん父子(中川村)による唄と踊り、陣馬太鼓の皆さんによる獅子舞がありました



活動報告

第5回通常総会

(2006年5月13日)

「ご来賓に、4月中川村に新しく迎えられた曾我村長をはじめ、中川商工会長、養命酒製造(株)工場長、JA上伊那中川支所長をお招きして、新年度事業活動計画等を、「ご承認頂きました。」

本年度は5年の節目もあり、村を中心に地域の仲間たちとの協働のまちづくりの取り組みについて報告申し上げました。

飯島町国際協力会との協働イベント

(2006年6月18日)

飯島町文化センターで、地域の外国籍の方々を集め「第1回伊那谷国際交流フェスティバル」を開催しました。伊那谷で国際交流に活躍されている各グループ・団体とともに実行委員として協力しました。上下伊那の行政8市町村が協賛・後援し、盛大に開催できました。

来年はこの

地域で開催するか、楽しみです。

観光と桃狩りで都市農村交流

(2006年7月23日)

養命の里常務理事が東京の仲間たち9名を連れ来村、地域観光と桃狩りを楽しみました。

夏秋シーズンには、関西関東方面からマイカーで会員家族や友達、養命の里を訪れ、伊那谷の観光を楽しんでい

かれました。

中川赤そば花まつり(2006年)

9月15日~10月15日



養命の里の仲間たちが、遊休農地 荒廃地の有効利用対策として、5年間管理を続けてきた中川



村西原地域の、約3町歩に、「高嶺ルビー」という品種の赤そばを播きました。

これは、駒ヶ根市の早太郎温泉組合長から相談があり、早太郎温泉

10周年記念事業と協働で、赤そばの花まつりコースとしてイベントに参加したものです。

行政をはじめ、多くのグループ、団体の協力を頂き、盛大に開催できました。

中川さわやかウォークに参加・接待

(2006年9月30日・10月1日)

毎年参加し、ウォーカーに湯茶の接待をしています。



本年度は、中川赤そば花まつりと、養命の里5周年事業と重なり、多忙でしたが、養命の里事務所を休憩の場としてご利用頂きました。

日本みつばち祭り参加・協力

(2006年10月22日)

養命の里会員として、長年ご指導を頂いている「信州日本みつばちの会」会長の八子研究家富永朝和さんが、全国の日本みつばちファンを楽しませてくれます。

養命の里会員数名も、会員です。

名古屋市名南コーポ団地・都市農村交流参加(2006年12月10日)

5回目を迎えた都市農村交流イベントで、名南コーポ団地恒例の、年末餅つきイベントに、会員仲間の農家から、りんご野菜等をワゴン車に積み込んだの農産物販売参加。

団地の子供たちの売り子応援により、本年も完売できました。

来年は、名

南コーポイ

ベント20周年

記念事業を計

画しているこ

と。養命

の里も招待さ

れました。

中川村の有

志グループ、

団体の皆さん

に声を掛け合

つての協働参加

を考えていま

す。

第6回山の寺にて写経と参禅会

(2007年3月24日)

養命の里設立以来、毎年企画しているイベントの一つです。



剎那(ただ今)に生かされている自分を静かに見つめ直しながら、生かされ、生きていくことの大切さ、尊さに気づき、感謝して、新

たな活動の原動力に役立てることを目標に、続けていきます。

毎年続けて参加される方、また、初めて参加される方、各々の思いは異なりますが、一年に一度の体験に参加された大半の方々は、心地よい気持ちでしたと、来年も楽しみにしていますという、茶話会のひとときでした。



今後も相変わらず「ご支援下さい。」

長野県上伊那郡中川村片桐23316の2

信州 養命の里 プロジェクト事務局

Tel 0265-88-2452 Fax 0265-88-2390

e-mail sys100@ceres.ocn.ne.jp

info@younmeinosato.com

URL http://www4.ocn.ne.jp/~younmei/

http://www.younmeinosato.com/ 「養命」は、養命酒製造株式会社の著名商標として、「養命の里」の使用については、同社の承諾を受けております。